

家政科 家庭総合 学習指導案

日時	平成23年6月17日(金)第○時限	指導者	鈴木 麻弥	
対象	家政科 1年○組	実施場所	1年○組教室	
単元	心身の豊かな発達	教科書名	新家庭総合	
		発行書名	実教出版	
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 乳幼児期の子どもに関心をもち、乳幼児期の「愛着」の形成や、子どもの人間形成にかかわる親の役割の重要性について考えようとしている。【関心・意欲・態度】</li> <li>○ 子どもの発育・発達には個人差はあるが、一定の共通性について考え、特徴をまとめることができる。【思考・判断】</li> <li>○ ロールプレイングを通して、子どもに対する親の働きかけの方法や親としての態度などを、実生活で役立てるようにする。【技能・表現】</li> <li>○ 乳幼児の身体的発育・発達と生理機能、子どもの心身の発達について理解することができる。【知識・理解】</li> </ul>			
指導計画	人の発達と保育 1時間 からだの発達 2時間 こころの発達 3時間	(本時はその②時)	(6時間扱い)	
本時目標	新生児期の子どもに関心をもち、特徴について調べようとしている。【関心・意欲・態度】 新生児の身体的発育・発達と生理的特徴について理解できる。【知識・理解】			
準備資料	小テスト(プリント), 赤ちゃん人形(ワークシート), ニュービジュアル家庭科(資料), 乳酸菌飲料容器			
	学習内容および活動	学習形態	時間	○指導上の留意点, ◎評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時までの確認小テストに取り組み。</li> <li>・ 前時の学習を振り返る。</li> <li>・ 本時の学習課題を確認する。 <u>新生児の特徴を理解しよう</u></li> </ul>	個別	5分	○ 小テストを配付する。
		一斉	5分	○ 前時の学習を振り返らせ、出生時直前の胎児の身長・体重と新生児反射について思い出させる。  ○ 新生児期とは、出生後4週間までであることを知らせる。
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出生直後の赤ちゃんの特徴について調べる。</li> <li>・ 赤ちゃん人形を抱く。</li> <li>・ 人形を抱いた感想と、身長・体重をワークシートにまとめる。</li> <li>・ 生後3～5日に体重が減少するのはなぜか考え、発表する。</li> <li>・ 生理的体重減少と胃の容量を知る。</li> <li>・ 30秒間の脈拍を測定する。</li> <li>・ 新生児の脈拍を知る。</li> <li>・ 脈拍・体温・睡眠時間をプリントにまとめる。</li> </ul>	個別	5分	○ 新生児期の特徴について挙げさせる。赤ちゃんに接点が少ない生徒には、資料を見て考えてみるよう促すようにする。
		個別	20分	◎ 新生児の子どもに関心をもち、特徴について調べようとしている。【関心・意欲・態度】 ○ 赤ちゃん人形を抱いてみる事で、新生児の大きさや重さを実感し、赤ちゃんに対する興味・関心を引き出すようにする。 ○ 抱く順番を待つ間、乳幼児の成長カレンダーと上手な抱き方(資料集P20, P21)を確認させる。
		個別	5分	○ 出生時の身長、体重を確認させる。(身長50cm, 体重3,000g, 頭囲33cm) ○ ただの感想にならないように、自分がどう感じたのかを書くように指示する。
		一斉	5分	○ 出生直後は、ほ乳量に対して排せつ量が多いため、体重が5～10%減少すること(生理的体重減少)を知らせる。乳児期の胃の容量(約50ml)についても乳酸菌飲料容器を提示し、視覚的に理解させる。
		個別	5分	○ 脈拍が取れるように机間指導をする。 ○ 新生児の体温と脈拍・睡眠時間を知らせる。 ○ 乳幼児は新陳代謝が盛んなため、脈拍・呼吸が多く、体温が高いことを理解させる。また、体温調節機能が未発達なため季節にあわせた部屋の温度と衣類の調節が必要であることを知らせる。 ◎ 新生児の身体的発達と生理的特徴について理解している。【知識・理解】
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の学習内容を振り返る。</li> <li>・ 次時の学習内容を確認する。</li> </ul>	一斉	5分	○ ワークシートを基に、学習内容を確認する。 ○ 次時の学習も新生児期の特徴であることを知らせる。